

## 令和7年度 安全の確保に向けた取り組み状況に対する点検・改善措置

| 項目          | 内容                               |
|-------------|----------------------------------|
| 安全方針        | 安全最優先・法令順守、安全管理体制の構築及び定着         |
| 輸送の安全に関する目標 | 目標である、「有責重大事故0」が達成できている。         |
| 輸送の安全に関する計画 | ①交差点左折時の一旦停止実施<br>②軽微な事故が8件発生した。 |
| 安全投資        | 令和6年度に点呼用機器のデジタル化を推進             |

| 項目                       | 内容   |
|--------------------------|--|
| 1 経営トップの責務               | 毎月実施の現場巡視の機会、乗務員との会話の中から、訓示等を通じて安全方針を社内全員に周知徹底   |
| 2 安全方針                   | 月毎の安全教育を通し、車庫内事故を減らすよう決定   |
| 3 安全重点施策                 | 前年度の有責事故を精査し、翌年度事故0になるよう目指させる。   |
| 4 安全統括管理者の責務             | 安全統括管理者が日々現場、車庫内巡視している。  |
| 5 要員の責任・権限               | 安全管理規定に明記して従業員に周知している。   |
| 6 情報伝達及びコミュニケーションの確保     | 現場でのコミュニケーションを増やし、意思伝達がスムーズに働くよう努める。また、会社連絡にフリーダイヤルを活用するよう伝える。                             |
| 7 事故ヒヤリハット情報等の収集・活用      | ①事故情報は、発生後詳細を調査の上、掲示し乗務員に周知<br>②国土交通省メールマガジン（重大事故情報）を毎週印刷し、掲示<br>③ヒヤリハット情報はマップを作成し掲示する。    |
| 8 重大な事故等への対応             | 年一回、重大事故を想定した訓練を実施し、実施後は課題や問題点を明らかにし、万が一に備える。  |
| 9 関係法令等の遵守の確保            | 服務規程を乗務員休憩室へ掲示し、周知を図る。   |
| 10 安全管理体制の構築・改善に必要な教育訓練等 | 年間計画に則り、月毎の乗務員教育にKYTトレーニングを導入、また、乗務員が月毎に各々安全目標を決め、遵守するよう指導する<br>重大事故情報（メールマガジン）を毎週掲示し注意を促す |
| 11 内部監査                  | 毎年12月に実施予定   |
| 12 マネジメントレビューと継続的改善      | 前年度の安全重点施策達成状況の検証結果を踏まえ、マネジメントレビューを実施  |

代表取締役社長

大木 俊 隆

安全統括管理者

深 沢 道 孝

事故発生状況の推移

| 年度     | 令和2年度  | 令和3年度  | 令和4年度  | 令和5年度  | 令和6年度  | 令和7年度  |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|        | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 |
| 交通事故件数 | 2 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | 3 (0)  | 8 (0)  | 11 (0) |
| 有責事故   | 2 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | 8 (0)  | 11 (0) |
| 死者数    | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  |
| 負傷者数   | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  |
| 車両数    | 13両    | 13両    | 13両    | 12両    | 11両    | 10両    |
| 総走行キロ  | 6万キロ   | 10万キロ  | 20万キロ  | 32万キロ  | 25万キロ  | 25万キロ  |